

2018 熊本地震デジタルアーカイブシンポジウム

熊本地震から2年！

デジタルアーカイブの利活用に向けて



【日時】2018年6月14日（木）13:00～17:00

【会場】熊本大学工学部百周年記念館

【基調講演】アンドリュー・ゴードン（ハーバード大学教授）

【報告】 東京大学先端科学技術研究センター
熊本県
熊本大学
熊本市
益城町

【パネルディスカッション】デジタルアーカイブの利活用に向けて

主催：熊本大学 ・ 東京大学先端科学技術研究センター

共催：熊本県，くまもと水循環・減災研究教育センター，一般財団法人 熊本工学会

後援：熊本市教育委員会，熊本日日新聞社，NHK 熊本放送局，熊本放送，テレビ熊本，
くまもと県民テレビ，熊本朝日放送，エフエム熊本，FM791

【 開催趣旨 】

震度7が2回発生した熊本地震から2年と2か月が経過しました。この間被災地では復旧に向けて取り組み、熊本大学と東京大学先端科学技術研究センター及び熊本県は包括連携を提携して、復旧・復興の支援に取り組んできました。特に、熊本地震のデジタルアーカイブ構築を目指して、東北大学災害科学国際研究所の支援のもと、熊本地震アーカイブの構築や地震関連資料の収集に努めてきました。収集した地震関連資料は単なる保存にとどまらず、研究・教育での活用をはじめ、次の災害に対する備えや他の地域での利用・活用が求められています。多くの課題や問題があります。この問題に先駆的に取り組んでいますハーバード大学のA. ゴードン教授をお招きして、その研究の一端を紹介してもらいます。また、関係自治体からの現況報告と今後のデジタルアーカイブの利活用に向けて意見交換をします。

【 プログラム 】

進行役：竹内 裕希子（熊本大学准教授）

13:00～13:10 開会挨拶 原田 信志（熊本大学長）

13:10～14:10 基調講演 ※講演は日本語で行います

講演者：アンドリュー・ゴードン（ハーバード大学教授）

演 題：「災害デジタルアーカイブ：利活用の可能性と課題
(The opportunities and Challenges of Using
Disaster Digital Archives)」



14:10～15:10 アーカイブ関係報告（各 20 分）

1) 「震災の記憶の記録――三大震災とその後」

牧原 出（東京大学先端科学技術研究センター教授）

2) 「熊本県における熊本地震デジタルアーカイブの取組」

黒瀬 琢也（熊本県知事公室危機管理防災課防災企画室長）

3) 「地震デジタルアーカイブの資料収集と利活用」

山尾 敏孝（熊本大学シニア教授）

15:10～15:25 休 憩

15:25～15:55 各自治体から現況報告(各 15 分)

1) 「平成 28 年熊本地震における熊本市の対応と伝承の取組」

熊本市 酒井 英恵（熊本市政策局復興総室総務班主査）

2) 「益城町図書館の熊本地震アーカイブについて」

益城町 西村 まみ（益城町図書館司書）

16:00～16:55 パネルディスカッション

コーディネーター：山尾 敏孝（熊本大学シニア教授）

「デジタルアーカイブの利活用に向けて」

<上記基調講演者及び報告者>

16:55～17:00 閉会挨拶